

今定例会の経過

三月一日から二十二日間の会期で開催された第一回定例会には、議案四十一件が提案されました。

初日の本会議で議決が早急に必要な四議案が全会派一致で原案可決されました。残る三十七議案については、最終日の本会議で採決が行われ、二十三年度の一般会計当初予算など計八議案は審議未了、二十二年度の一般会計補正予算など計八議案は反対多数で原案否決となりました。また条例二議案は継続審査となり、残る十九議案は原案のとおり可決されました。

また「副市長に対する問責決議案」及び「総務特別委員会設置の件」が賛成多数で可決されました。

三月二十二日の議長発言(要旨)

二十三年度補正予算に関し、取りすぎた国民健康保険料返還金の財源問題は、去年六月の民生保健・総務委員会の連合審査で激しく議論され、一たん職員の退職手当分を前借りし、三月定例会までに改めて示すというのを約束していたが、

討論

公明党 自由民主党 自由民主党 自由民主党

今回提出されたものは、単に人件費(人事院勧告)の余剰分を充てたものにならず、当初の「職員の身を削ってでも」とは大きくかけ離れ、明確な答弁及び資料が出されていない。このように役所が何も工夫をしていないことは、重大な問題であり議会の指摘を軽視したものである。説明責任を果たすべき市長等の態度としては看過できない。

を了とし、当面は予算の範囲内で午後五時までの運用を行い、新たな予算案には議論を踏まえた事業費を提案すべきとの意見を付し、原案に賛成、修正案に反対する。

も見方の分かれるところである。提出された問責決議案には、虚偽の答弁、公文書の隠ぺい及び改ざんを行ったことは犯罪行為に等しいとの文言がある。私たちはこのような事実はなかったと議会運営委員会でも確認をしております、この文案は事実誤認であり行き過ぎである。よって、この問責決議に對しては明確に反対する。

総務特別委員会設置に反対する
今議会の総務委員会での理事者の答弁は明確かつ誠実であり、議会の指摘に對しても真摯な態度で対応するものであった。したがって、総務特別委員会が設置される理由は全く見当たらない。よって、総務特別委員会の設置に對しては明確に反対する。

議案の会派態度表(第1回定例会・第1回臨時会) (○賛成 ×反対)

Table with columns for party names (公明党, 真正議員団, 共産党, 自由民主党, 民主さわか風, 民主さわか風, 民主さわか風, 民主さわか風) and rows for various budget and ordinance items. Includes a '審議未了' section.